

2020年度

一般入学試験（前期：1月31日）問題

国語

（薬学部・看護学部・健康医療科学部・心理学部）

注意事項

1. 問題冊子は、試験監督者の指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題冊子と解答用紙（マークシート）は別になっています。
3. 解答用紙には解答欄以外に下記①～④の記入欄があるので、監督者の指示に従ってそれぞれ正しく記入し、マークしなさい。
 - ①氏名欄 氏名およびフリガナを記入しなさい。
 - ②受験番号欄 受験番号（数字および英字）を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
 - ③試験種別欄 【一般前期2日目】にマークしなさい。
 - ④教科・科目欄 【国語】にマークしなさい。
4. 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の（例）のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

5. 試験時間は、60分です。

I

次の文章を読んで、後の問い 問 1～7 に答えよ。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

田中克彦 『ことばの差別』より

問 1 傍線部㉞㉟の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

㉞ ケン|チヨ

1

- ① ケン|カイの相違が明らかになった。
- ② ケン|アンの事項について話し合う。
- ③ 隠れていた被害がケン|ザイ化した。
- ④ 細胞についてケン|キュウする。

㉟ セイ|サク

2

- ① 少しチヨウ|セイが必要だ。
- ② 法律をセイ|テイする。
- ③ ホウ|セイ工場で働く。
- ④ セイ|イッパイ頑張る。

㉟ カイ|ソウ

3

- ① ドウ|ソウカイに出席する。
- ② 都会のケン|ソウを離れる。
- ③ 幼児にはジヨウ|ソウ教育が大切だ。
- ④ カツ|ダンソウが地震を引き起こす。

問 2 空欄 a b d のそれぞれに当てはまることばとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つずつ選べ。①～⑥はそれぞれ一度しか使えない)

- ① また ② とにかく ③ だが ④ たとえば ⑤ 一方 ⑥ だから

a の解答番号： 4

b の解答番号： 5

d の解答番号： 6

問 3 傍線部 A 「ことばに自信がなく、慢性的におどおどした」とあるが、これを他の言い方で表すと、どのような表現になるか。最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① うそを求めている ② ことばに病む ③ 圧力におびえる ④ 規範から外れた

問 4 空欄 c を補う形容詞として最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 確かで ② 正しい ③ 模範的で ④ うるわしい

問5 傍線部B 「ことばと人間をおどしつけ、しぼりあげてきた規範が、他の社会的制度と同様、純粹に相対的なものだということ」とあるが、これはどのようなことか。その説明として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

9

- ① ことばとその使用者にとって脅しやしがらみの象徴であり続けてきた言語規範というものが、実のところ、その他の社会的制度に対して相対的な関係を有しているということ。
- ② ことば自体とことばの使用者に対して正しさや美しさを要求する根拠となってきた言語規範というものが、ことば以外の社会的制度に変わらず、絶対的なものではないということ。
- ③ 作家に代表されることばの達人や専門家の主張する言語規範というものが、ことば自体とその話者にとっては大變な脅威と束縛であり、他の社会的制度と同じく対立するべき存在であるということ。
- ④ ことばの専門家である作家がことばの正しさや美しさを指定する行為は、医者が病気をあばきたてて患者に宣告をつきつける行為と同様に、ことばとその使用者にとっては脅威と束縛であり、厳に慎まれるべきものであること。
- ⑤ ことばとその話者とが意識する言語規範というものが、実際には唯一無二のものではなく、その点でことば以外の社会的制度と同様であり、そのような示唆を心得たことが近代言語学の思想的意義であるということ。

問 6 傍線部 C やくざ的同語反復に「ごみをきかせる」とあるが、これはどのようなことか。その説明として最も適当なもの

のを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

10

- ① 圧倒的な迫力を持たせて自明の理論を語ること。
- ② 脅迫的行為によって自らの考えを受諾させること。
- ③ 同一の事柄を繰り返し暴力的に主張すること。
- ④ ことばに自信のない話者の弱みにつけこんで同意を強要すること。
- ⑤ 理由や根拠を明示しないまま主張を押しつけること。

問7 この文章の趣旨に合致するものはどれか。最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

11

- ① 作家が日本語について模範をたれることは、ちょうど医者が病気を宣告することに似ていて、真に正しく美しい日本語を習得し得た作家ならではの自信がその背景にある。
- ② ことばというものは出身地・居住地・職業などによって異なり、必ずしも誰もが正しく美しい日本語を身につけられるとは限らないものであり、まさにその点が動物のことばと人間のことばを分かつ特徴となっている。
- ③ 昨今の日本語の乱れに対する危惧を反映して「日本語ブーム」が全国津々浦々に広まっているが、実のところこれは、庶民の実感とはかけ離れた一種の市況用語とすべきものである。
- ④ 言語学はことばの誤用と言われる現象に接したときにも、そこから積極的にことばの変化のあり方を見極めようとする姿勢を有しており、ことばの正しさや美しさを追究することは言語学の仕事ではない。
- ⑤ ことばというものは簡単には取り替えのきかないものだから、それに対して欠陥をあれこれ指摘することは社会的リンチと言ふべきものであり、人道的見地から慎まれるべき行為である。

Ⅱ

次の文章を読んで、後の問い 問 1 ～ 6 に答えよ。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

外山滋比古 『思考の整理学』による。設問の都合上、本文の一部を改めた。

注) 1 グライダー人間⇨著者は前章で 自分の考えを打ち出すことはできないが、教えてもらった知識を、必要に応じて整理するのは巧みであるという学習者」のことをグライダー人間としている。

問 1 傍線部⑦～⑨の語句の本文中における意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選

- ⑦ 舌を巻いて
- 12
- ① あきれて
 - ② 驚いて
 - ③ 逆らって
 - ④ あせって
 - ⑤ とまどって

- ⑧ おびたしい
- 13
- ① 非常に多くの
 - ② とても優秀な
 - ③ 長時間働ける
 - ④ 極めて体力のある
 - ⑤ 種類が豊富な

- ⑨ 自然淘汰
- 14
- ① 自然に分別され、次第に少なくなる
 - ② 環境に応じて、向き不向きが自然と判明する
 - ③ 意識的でない者は、仕事がなくなる
 - ④ 自然科学と理数系に強い人間が生き残る
 - ⑤ 環境に適応した者は残り、他は滅びる

問 2 空欄 A に当てはまる一文は次のうちどれか、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

15

- ① グライダー人間ではいけないのか、という怒りがふつふつとわいてきた。
- ② コンピューターに支配される日が来るのではないか、と恐ろしくなってきた。
- ③ 人間とは、なんなのか、という反省がすこしずつ芽生えてきた。
- ④ 人間とコンピューターの差はどこにあるのか、とようやく考え始めた。
- ⑤ もっと機械に強い人間を育てなければならない、と意識するようになった。

問3 傍線部B 「これまでの人間教育が急に間の抜けたものに見え出してきた」とあるが、その理由の説明として最も適当な

16

ものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 学校はコンピューター人間を育ててきたが、それは機械に負けてしまうコンピューター人間であり、そのことに気づいていながら少しも危機感を抱かずに、いずれはコンピューターもできない仕事を人間がすることになると信じてこれまでの教育を続けてきたから。
- ② 学校は、大事なことを覚えておいて必要なときに思い出し引き出してくるという能力は、人間のみが持つものであると強く信じ、この記憶と再生を重視したグライダー訓練所であることをすこしも恥じるところがなく、それを誇りにして教育してきたから。
- ③ 学校は、本物のコンピューターとして見れば欠陥があるが、人間コンピューターは電源はいらぬし、どこへも自分の足で移動できるという点を評価し、コンピューターに仕事を奪われることなどないに違いないと信じながら、グライダー人間を育てているから。
- ④ 学校は、大事なことを覚えておいて、必要なときに思い出し引き出してくるというのは、ただ人間のみでできることであると信じ、その能力を持つ人間の育成に力を注いできたが、記憶・再生ともに人間は、とてもコンピューターにかなわないことが明らかになったから。
- ⑤ 学校は、人間がいずれコンピューターのようになることを目指して教育してきており、これまでグライダー訓練を専門にしてきたのに、いきなり飛行機をこしらえられるようになるわけがなく、はたして創造性が教えられるものかどうかすら疑問であるから。

問 4 空欄 I II III に当てはまることばを、次の①～⑨のうちから一つずつ選べ。①～⑨はそれぞれ一度しか使えない)

- ① 悲観的 ② 楽観的 ③ 模範的 ④ 抽象的 ⑤ 思想的 ⑥ 理想的
- ⑦ 現実的 ⑧ 具体的 ⑨ 独創的

I の解答番号： 17

II の解答番号： 18

III の解答番号： 19

問 5 傍線部 C 「これまでの学校教育は、記憶と再生を中心とした知的訓練を行ってきた」とあるが、今後、目指すべき教育について、筆者の考えに最も近いものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。 20

- ① コンピューターにはできない複雑な事務のできる人を育てる教育。
- ② 機械に手の出ないあるいは出しにくいことができる人を育てる教育。
- ③ ものごころのつかない赤ん坊のころから本当の人間を育てる教育。
- ④ コンピューターには認識できない特異な創造性を持つ人を育てる教育。
- ⑤ 記憶と再生の機能を充実させ 機械的“な性格を持つ人を育てる教育。

問 6

この文章の趣旨に合致するものはどれか、最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

21

- ① これからの事務職はどうあるべきか、コンピューターに負けない仕事内容を早急に考えなければならない。
- ② 会社で出世するかどうかは、機械やコンピューターのできない仕事をどれくらいよくできるかによる。
- ③ コンピューターの出現で記憶と再生の人間の価値はゆらぎ、今後は創造的な仕事が評価される時代になる。
- ④ コンピューターを使用しない芸術・学問・スポーツに関わる業種が、これからの時代に生き残ることになる。
- ⑤ 学校教育に創造性が教えられるかどうか疑問であるため、個人が責任を持って思考とは何かを考えるべきだ。

III

次の文章を読んで、後の問い 問1～7) に答えよ。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

秋山駿 「自分の半生と衝突」による。設問の都合上、本文の一部を改めた）
(注) 1 襷褌 赤ん坊をくるむ布、産着、おむつ、ふんどしのこと。

問 1 傍線部 A 「強い疑惑」とあるが、それはどのようなものか。最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

22

- ① 年老いて身体がぐったりし、心もばらばらで考える力をもてなくなっている自分が書く文章など、もう意味がないのではないかという強い疑いの気持ち。
- ② 陽気や気候の変化に順応できず、身体がぐったりしてしまい、年老いた自分は今後うまく生きることができないのではないかという強い疑いの気持ち。
- ③ 本を読むのもおっくうで、読んでもつまらなくなっている年老いた自分に気づき、もう作家として生きていけないのではないかと強く疑う気持ち。
- ④ 「意味」を追って走るということが十分にできた小林秀雄に比べ、自分は鈍で劣っていたのだと改めて気づき、自分の文章の価値を強く疑う気持ち。
- ⑤ 自分の文章が、日常の感覚や心の動きなどをさりげなく自然に語るようなものになっていないことに気づき、自分の文章の価値を強く疑う気持ち。

問2 傍線部B 「なんだか救われたような気がした」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを次の①～⑤

のうちから一つ選べ。

23

- ① 偶然読んだ藤村の随筆が、身体も心もばらばらで、ぐったりし、考える力をもたない自分の生の気分と同じだったから。
- ② 藤村の文章が、自分の生の気分と同じものを描いており、自分にはまだ作家としての可能性があると感じさせてくれたから。
- ③ 藤村が青梅を二升購入したと記しているのを読み、自分の暗い気分を変えるための手がかりを得たような気がしたから。
- ④ 藤村の随筆の内容が、往き場所のない自分の生の状況と同じであることに気づき、作家としての生き方に共感できたから。
- ⑤ ふらついてしまった自分に不安を感じていたが、藤村の素晴らしい文章に出会えたのは、むしろふらついたおかげだと思えたから。

問3 傍線部C「書けない」とあるが、なぜ、筆者は「書けない」と感じたのか。最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

24

- ① 鈍な自分の文章修業は躓きながら歩くようなものだったから。
- ② 年老いた自分の作家としての力量に限界を感じていたから。
- ③ 「意味」を追って文章を書くことばかりを目指してきたから。
- ④ 小林秀雄のような自然な文章は自分には書けなかったから。
- ⑤ 「意味」を追うでもなく自然に書くことしかできなかったから。

問4 空欄I・IIに入ることばの組み合わせとして最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

25

- ① I 批判的に見て II 理想の表現
- ② I 素直に感じて II 自然の姿
- ③ I 注意深く見て II 理念の表明
- ④ I 穏やかに感じて II 論理的で正確
- ⑤ I 自然にとらえて II 戦後意識の反映

問5 傍線部D 強く疑惑しなければならぬことになった」とあるが、どういふことか。最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

26

- ① 妻が難病を患い入院を繰り返すなか、それまで自分が日常生活においていかに妻に依存していたかを実感し、妻とともに生きることの意味を知った筆者には、一人の人間として考えるということに重きを置いて「私」とは何かを考え続けて来た従来の生き方への強い疑いが生じたということ。
- ② 入院して妻が不在となり、ひとりで生きていかなければならない状況に陥ったときに、日常生活の物事に対処できない惨めな自分の姿を発見し、妻に依存せず生活者として一人で生きることの大切さを知った筆者には、他人に頼る甘ったれた従来の生き方への強い疑いが生じたということ。
- ③ 妻が難病を患って身動きできない状態になったときに、混乱し、うまく対処できない自分を発見した筆者には、他者を巻き込みつつ、男と女が二人で居るといふ生き方への強い疑いが生じたということ。
- ④ 複数の病院・診療所を尋ねても病状が良くならず、痛くて眠れないといふ腕を掴む妻の姿を見て、これまで家庭をかえりみず仕事に熱中し、妻を孤独にしまったのだと気づいた筆者には、男として家庭よりも仕事を優先するという従来の生き方への強い疑いが生じたということ。
- ⑤ 痛みが強いときはベッドに寝たまま身動きできなくなる病身の妻の姿の前に、それを支えることのできない無能力者たる自分の姿を発見した筆者には、自分を犠牲にしても妻を助けたいといふ思いが生じ、自分のことだけを考えてきた従来の自分の生き方への強い疑いが生じたということ。

問 6 空欄Ⅲに入るべきことばは何か。最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

27

- ① 一市民として生きる
- ② 不自然に生きる
- ③ 自分らしく生きる
- ④ 共に生きる
- ⑤ 不調和なまま生きる

問 7 問題文中には島崎藤村の文章が引用されているが、日本の自然主義文学の代表作の一つとされる島崎藤村の著作として適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

28

- ① 『蒲団』
- ② 『破戒』
- ③ 『舞姫』
- ④ 『五重塔』
- ⑤ 『にこりえ』